

令和2年度 第5回豊能町教育委員会会議（9月定例会）会議録

日 時： 令和2年9月30日（水） 午前9時30分開会

場 所： 豊能町役場2階 大会議室

出席者：	教育長	森田 雅彦
	教育長職務代理者	宮崎 純光
	教育委員	太田 佳子
	教育委員	川村 新
	教育委員	岸本 恵子
事務局：	こども未来部長	八木 一史
	教育総務課長	入江 太志
	義務教育課長	吉澤 亘
	こども育成課長	竹内 弘明
	生涯学習課長	中谷 康彦
	義務教育課主幹兼	
	保幼小中一貫教育推進室長	峯 亜希子
	教育総務課課長補佐	住原 聡

傍聴者： 4名

会議次第

○審議事項

第9号議案 豊能町学校運営協議会設立準備委員会要綱の制定について

開会 午前9時30分

**【議長】**

ただ今より会議を始めます。

ただ今の出席委員は4名です。過半数に達していますので、ただ今から「令和2年度第5回豊能町教育委員会会議9月定例会」を開催いたします。

なお、坂口委員におかれましては、ご家族にご不幸がありましたので、欠席をさせていただきます旨連絡が入っております。よろしくお願いいたします。

会議録署名人を、宮崎職務代理にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

本日は、審議事項1件を議題とさせていただきます。

まず「第9号議案 豊能町学校運営協議会 設立準備委員会要綱の制定について」で

ございます。

事務局より説明をお願いします。

### 【事務局】

本日、ご提案をしておりますのは、「学校運営協議会の設立準備委員会の要綱の制定」でございます。議案の内容につきましては、お手元の資料の議案をご覧ください。

「第9号議案 豊能町学校運営協議会 設立準備委員会要綱の制定の件について」でございます。

学校再編・保幼小中一貫教育を推奨していく上で、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5に基づく、学校・家庭・地域に関係する各種団体から組織する学校運営協議会の設置・導入を円滑に進めるため、準備委員会を設立するものであります。

設置は、本日令和2年9月30日でございます。

内容については、ホッチキス止めをしております、「要綱」になります。

第1条は「設置について」です。現在、東地区・西地区の両方に「学校運営協議会」の設置を考えておりますので、準備委員会につきましても、東能勢中学校区と吉川中学校区それぞれに設置を予定しております。

所掌事務としましては、学校運営協議会 設置・運営の検討、必要な事項に関することを決めていきます。組織としましては、各学校園所の関係者・保護者・地域住民・学識経験者・教育委員会の必要と認める者で組織していこうと考えております。

任期につきましては、学校運営協議会が設置される日までと考えております。ただし、委員が欠けた場合には、任命された委員の残任期間を任命期間ということにしています。

準備会には、会長と副会長をおいて、それぞれの所掌事務に当たっていただこうと思っております。会議につきましては、会長が招集し、その中で審議等をしていただこうと思っております。

守秘義務についても列記させていただいております。個人情報等が出てくる場合もあると考えられます。また、政策立案期間中ですので、その情報についても、情報開示請求等も色々出てきますので、そこは守秘義務として、委嘱された委員、また、辞められた後も、そのまま引き続き守秘義務として守っていただこうと思っております。

庶務に関しましては、義務教育課のほうで事務を担当させていただこうと思っております。

この要綱につきましては、令和2年10月1日からの施行という形をとらせていただこうと思っております。

参考としまして、現在、準備委員会として、推薦者として挙がっております方々の名簿をつけております。

簡単ですが、説明は以上です。よろしくお願いたします。

**【議長】**

ありがとうございました。説明に対しましての質疑等ありましたら、お出してください。

**【委員】**

準備委員会の委員について、人数に関しては何か決まりがありましたら、お聞かせください。

**【事務局】**

特に人数に関しては定めておりません。各小中学校から5名程度推薦していただけないかというお願いをしましたので、西地区については3小学校と1中学校ですので、20名ほどでお名前が挙がっております。

東地区につきましては1小1中でありますので、10人ですが、10人では少し少ないと思いますので、もう少し人数を入れていただいて現在のところ18名の方のお名前が挙がっております。

**【議長】**

学識経験者の方に東地区・西地区へそれぞれ入っていただく予定で対応をいただいているのですが、具体的にどういう方がどういう形で助言をいただくかというのは少し委員さん方にご紹介いただけますか。

**【事務局】**

補足的に今回、委員ではありませんが、我々も知識不足ですので、学識経験者として、既に小中一貫校の実践をされている大学の先生等に入っていただこうと思っております。

東地区につきましては、小規模校での小中一貫校を目指しますので、京都の大原学院の設立に関わられました小松先生に関わっていただこうと思っております。

西地区につきましては、東山開晴館を設立されました、京都教育大学の教授であります初田先生に顧問として入っていただき、指導・助言をいただこうと思っております。

**【議長】**

今、事務局からありましたように、小松先生につきましては、これまでの間、夏季教職員研修の講師として、小中一貫校等のあり方についてずっと関わっていただいております。

我々が大原学院へ視察に行ったときにも一緒に来ていただいております、色々なお話をいただいたところなのですが、現在、京都大学のほうで教授をなさっておりますけれども、今後ずっと関わっていただけるというお話を聞いております。

それから、初田先生につきましては、京都市教育委員会で、小中一貫教育の推進の責任者を長年しておられ、その後、東山開晴館の校長として6年間勤務されました。退職された今は京都教育大学の教授をなさっているということで、初田先生も大変お忙しくされておりますけれども、運営協議会準備会、西地区にアドバイザーとして関わっていただけるというお話をお聞きいたしております。

### 【委員】

今の先生方は、この名簿にはないので、おそらく会長とか副会長の職はされないのかなと。「顧問」という形ということで理解していいかと思う。

それぞれ、西地区と東地区に別々の顧問の方が付くということで、東西の連携というか、その辺りはどうなるのでしょうか。個別に進めていくのか、どこかで意見交換なり交流があるのか。というところはどうか考えておられるのでしょうか。

### 【事務局】

今年度につきましては、それぞれの進め方でやっていけたらと考えております。

来年度以降は、どの形までできているか、それから相互の進め方、内容については交流をもって情報共有はしたいと思っております。

委員さん達も初めての試みですし、我々も一応は勉強をしているのですが、実際にどういったところでメリット・デメリットが出てくるのかということのもまだ検証段階ですので、その部分も実践をされている先生方から色々聞き取りをしながら、本町のスタイルに合うような形を目指したいと思っておりますので、それぞれの特色でまずは本年度は考えて、それからある一定の形、目指すところが整ったところで情報交流ができればと思っております。

### 【委員】

わが町で初めてのことに取り組むので、試行錯誤や模索をしながら進めていくと思いますが、それぞれ独立にその地域にあった形を探していくというのは良いのですが、だからといって、情報交流をしないというのは、少し引かかる場所があります。それぞれのやり方で進んで、最後に情報交流するという道筋だと何というか軌道修正も後になると難しいし、別に情報交流をして同じように進めていくという訳でなくても良いと思う。初めてのことなので、皆さんの知恵を色々交換して、“じゃあ、こっちはこうだな”というように決めていただけると良いかなと思います。

以上です。

### 【委員】

この委員の方以外に、学校からは校長先生・教頭先生、あとはどなたが入るのかなと

か、そのあたりのところをもう少し具体的に教えてほしいと思います。

そして、東地区も西地区も大学生の方が入ってくださっているので、大変良かったなと思う。たまたま名前を知っている西地区の大学生の2人はとっても熱心な学生だったので、よかったなと思っています。

### 【事務局】

学校側については、今年度については校長先生に入っていただくようお願いをしております。先生方とか教頭先生や管理職の先生も必要に応じて関わっていただけたらと思っております。

来年度以降につきましては、他の先生方も入っていただいて、一緒に、“どういうスタイルでやっていったら良いのか”というのを協議をしていきたいなと思っています。当然、先生方にも入っていただかないと、どういう形で子ども達に関わっていくのかというのが、一番ストレートに関わっていただくところですので、そういう形を取りたいと思っております。

大学生の方を両中学校のほうから推薦をいただきまして、この学生さんなら色々と意見とかを言ってもらえるかなということで挙げていただきまして、たまたまですが、教育実習へ来ていただいているそうですので、学校の様子もよくわかって良いのかなと思っております。

### 【委員】

来年度から先生方もということなのですけれども。

特に東地区は、早く色々なことがスタートをしていくので、それも隣接の形でスタートをするので先生方の負担が大変大きいと思う。たぶん不安も持っていらっしゃるのだと思う。その辺のところを、やはり早く先生方をメンバーに入れながら、先生の意見を中心に考えていかないと、トップでいくら決めてもトップダウンではなかなか成功していかないと思うので、その辺りの細かいところの意見をできるだけ集約できる方策を今後とも考えてほしいと思います。

### 【事務局】

情報については、逐一学校の先生方にも伝わるような形を取っていききたいなと思っています。

反対にその情報に対して意見とかも吸い上げる形をとりたいと思っております。

ただ、この協議会をするときに先生方にその都度来ていただくのは少しご負担がかかるかなと思ひまして、管理職の先生方には関わっていただいて、そこから情報を伝達していただけたらと思っております。必要に応じて、今年度の予定ですけれども、学識の先生方に「勉強会」を1回開いていただこうと思っております。その際には学校の先生

方にも情報提供をして、興味のある方や関わってみたいと思う先生方には入っていたいで、一緒に学習をしていただけたらと思っております。

### 【議長】

私のほうからですけれども、学校運営協議会 準備会。今、事務局のほうからありましたように、今年度は大体3回ぐらい開催できたらなと思っております。

そして、できるだけ学校運営協議会の仕組みについて、熟議を交わしながら色々な学校の課題、子ども達の課題、あるいは地域の課題等をみんなで意見を出し合って、できましたら1つに具体的な形が取れたらと思っておりますが、昨日、実は吉川中学校の帰りに吉川小学校に行く用事がありまして、そこで稲刈りを5年生の子ども達がしておりました。その指導には吉川の元自治会長の向井さんにやっていただいております、ちょうど色々なお話をさせていただくことができました。一応、準備会にも入っていただいております、その中で、「こういうことができたらどうやろう」という提案もいただいたところですが、初谷川を中心とした、里山の自然を守るというような活動を何人かとなさっており、その中で色々なお話を聞いたのですけれども、「豊能未来課」の中でも、取り上げられる内容でございましたし、あるいは土曜日等の活動の中でも子ども達に呼びかけられる内容ではないかと、地域と学校と子ども達が一緒になって、そういうふうな活動ができれば素晴らしいなというお話でございました。

具体的には、今、「オオムラサキ」 国蝶の飼育をなさっている。あるいは「ジャコウアゲハ」という蝶、「ウマノスズクサ」という食草が保育所の近くにたくさんある。そういうお話を聞きましたし、大変珍しい植物も妙見山の周辺にたくさんある。そういうことも、子ども達にやはり自然の素晴らしさを知っておいてほしい。また、実際の実物も見てほしい。というお話もありました。

「シロミノヤブムラサキ」 これは淡路島で数年前に見つかって、世界でも2例目だそうだけれども、大変貴重な植物だし、なかなか自然の中で見られないラン科の植物「クマガイソウ」というのも見てほしい。そういうお話もお聴きをしたところです。

このようなことも、学校運営協議会 準備委員会の中で、少し提案もさせていただき、地域とともにそういう活動ができれば、この素晴らしい豊能町、子ども達が将来にわたっても、大事にしてくれるのではないかと、思い出してくれるのではないかとというようなお話もしていただいております。

これが軌道に乗っていくのには少し時間がかかるというように思いますけれども、少しずつみんなで子ども達のこと、学校のこと、そして地域のこと、意見を出し合い知恵を出し合って、進めていけたらと思っております。

### 【議長】

他に質問はございませんか。

そうしましたら、質疑を終結します。

採決を行います。ただ今、説明のありました「第9号議案 豊能町学校運営協議会設立準備委員会要綱の制定」につきまして、賛成の委員の皆さんの挙手をお願いいたします。

＝ 全員挙手 ＝

**【議長】**

挙手全員であります。よって、第9号議案は「可決」されました。

**【議長】**

続きまして、前回会議以降の各課・室の報告に移ります。  
順次、事務局より報告を求めます。

**【こども未来部長】**

- ・9月定例議会の報告
- ・9月補正予算について
- ・学校再編・保幼小中一貫教育に関する説明会等について

**【議長】**

今の報告について、ご質問はございますでしょうか。

**【委員】**

光風台の保護者説明会に参加をさせていただいたのですけれども、多くの質問ということではなかったのですけれども、お聞きをしたいのは、先生方の説明がリモートでされて、あと、質問用紙とかを回収されたということなので、先生方からどんな質問があったのかなということと、保護者説明会もこんなに意見は出なかったのかも分かりませんがお聞きしたい。

課長のほうか、どちらでも良いですが、室長のほうにお願いしてよろしいですか。

**【義務教育課長】**

先生方に対しては、リモートでさせていただきます、メールでも何点かお受けして、その後、紙媒体でいただいております。

内容につきましては、やはり、どういう形になるのかということが多かった。小中一貫校として、どのような配置になるのか。それから教員の配置です。1つは、小中の両方の免許は取っていただきたいと言いましたので、それは必ず必要なのですかという質

間。メリットばかりを言っているので、デメリットの検証はされたのかというご意見もいただいていますし、どちらかという、教育の内容をどういう形でやっていったらいいのかとか、先生方の配置についてどういった形の配置になるのか、子どもの数はどうなるのかといった、今すでに関わっておられることと、比較してどうなるのかという質問が多かったです。その回答については、今後また学校のほうに返して行こうと思っております。

保護者説明会で質問があったのは、もっと細かいところのお話があって、給食がどうなるのかとか、通学はどうなるのかとか、そういったところが多かったですね。

東のほうは令和4年からと、東でも西でも発言していますので、西地区もできるだけ早く小中一貫にするのであれば進めていただきたいというご意見をいただいております。

保護者への回答につきましても、今後返して行こうと思っております。

### 【委員】

保護者説明会のときにも終わった後、課長に少しお話をさせてもらったのですけれども、小中の両方の免許が要りますという資料が出たときにドキッとしました。当面の間は両方なくても良いという説明がなくて、先生方にとったら採用のときに「両方の免許」と言われているのであれば良いけれども、持っていらっしゃらない先生にとったら、すごくしんどいし、保護者にはそこは引っかかっていなくて、わりとスルっといっていたのですけれども、先生方も同じ資料なのであれば、とつてもびっくりされたと思う。だから、そのあたりのところ丁寧な説明が必要だし、大きな市で何校かあるのであれば、両方の免許を持っていらっしゃる方を義務教育学校に集中させるということはできると思うのですけれども、豊能町はそういうことが難しいと思うのですね。2校しかできないわけですから。

現在、免許を持っていらっしゃらない方が、開校までに免許を取れる条件があるのかなというのがとても心配になりました。逆に先生方にしたら、「せっかく豊能町で頑張ってきたけれども、他に異動するわ」というような先生方が出てこないのかなということも心配で、異動を望んでいらっしゃるのであれば、これは教育委員会事務局としては困るなと思う。豊能町の教育を頑張ってこられた先生方も新しい学校でぜひとも頑張ってもらいたいと思っているので、この「免許取得」というのは、制度の絡みもありますが、私自身も中学免許しか持っていなくて、教頭試験に受かってから、もう免許は必要なかったのですが、当時、豊中に籍を置いていたので、保護者も結構厳しい色々な方が居られるので、小学校免許をやっぱり取ろうと思って通信で2年間かけて取りました。もうとっても大変でした。たまたま教育センターにおりましたので、環境的にも色々調べやすい環境にあったから良かったのですけれども、先生方はなかなかそうはいかないのではないかなと思う。

私はもう子育ても終わると言ったらおかしいですけども、子育てが終わる年齢だったので取りやすかったのですけれども、子育てをしながら免許を取るとするのは先生方にとったらすごく大変なことだと思います。そのあたりのところをサラッと「小中免許が必要ですよ」なんて言われたら、凄いショックだったのではないかなというふうに思う。実際に先生方とお話する機会もないので分からないですけども、だからそういった気持ち、今は「免許」のことで言っているのですけれども、やはり新しい学校の中心になっていかれるのは先生方なので、こんな些細なことをどんな細かい意見も吸い上げていかない先生方がやる気が出ないと思う。

ぜひとも良い学校にしてほしいと思っているので、そのためには先生方の力ではなくてはならないので、その先生方に豊能町を出ていこうかなというような思いを持たせないようなことをぜひともお願いしたい。よそから免許を持っている人を連れて来たら良いというような形に決してしないようにしてほしい。

### 【義務教育課長】

説明会后に色々言われまして、少し配慮が足りなかったかなとは思いました。私もそんな出て行けとは少しも思っていません。せつかく今までこの豊能町で頑張ってきていただいて、その蓄積もあるので、それを存分に発揮していただきたいという思いは十分あります。今後丁寧に説明を心掛けたいと思っています。

そして、教職員組合からも、そのような要望がありましたので、私どもも調べておりますけれども、猶予期間も持っていますし、中学校の先生の場合は、中学校免許で教科の専科という形で小学校に関わることができますので、ある程度の期間は小学校の免許がなくても中学校の先生の場合大丈夫ですが、小学校の先生の場合は、見れる学年が縮小されてしまいますので、異動となる可能性が出てきます。上の学年も見ていただきたいなという思いはありますので、どこまでの期間にできるだけ免許を取ってくださいとお願いをしていこうとは考えております。

今は、文科省の方も、その2つの免許を取る際にはある程度緩和されております。取得をする教科の単位数も少なくなっていますし、担任とかをされている先生がもう一つの免許を取るというのはしんどいとは思いますが、通信で1年間で一単位取得が可能な状況になっております。それを上手に使っていただいてやっていただけたらなと思います。

### 【議長】

やはり小学校の先生と中学校の先生が同じその建物の中で指導していく、子ども達を教えていく。6年と3年を足したら終わりではない。

小学校は「教科担任制」が中心であり、中学校は「専科制」になっています。その文化が違うというところから、これは始めないと、お互いが良さを分かり合うところか

らスタートしないと無理だというように思います。

ほとんどの先生方はそのような、一緒になって子ども達を教えていく、指導をしていくという経験がまだございません。その不安は確かに大きいものがあるので、色々な今「乗合授業」とか、保幼小中一貫教育の中で、お互いの授業を見合うとか、あるいは中学校の先生が小学校を教える、小学校の先生が中学校を教えるというような授業を実際にしながら、色々な研究を積み重ねていただいているところです。やはり不安なところは1つずつ丁寧に色々な助言をしていく必要があるというように思っております。

「免許」につきましては、こちらがお願いをさせていただく内容だと思っております。

文部科学省は、27年に新しい義務教育学校という9年制の学校を創ったときに、どちらかの免許があったら当分の間はそれで良いということなのですけれども、実際に学校運営をする際に、事務局が申しましたように、中学校の先生は「専科」で降りれますが、小学校の先生が、例えば5・6・7の7年生を持とうとすると、小学校の免許だけではこれは学級会とか、特別活動としか見れないというのがありますので、できたら違う教科の免許を取っていただく必要があります。

色々調べる中では、昔は10年間の経験がなくてはいけないのが3年間の経験で、単位数は12単位～14単位。1年間で取得できますということがインターネット上にも出ております。そういうふうなことで、また、スクーリングも全部ネット上でできるような形で緩和されているということですが、やはり新しい学校を創ったのであれば、それなりの教育課程とか、あるいは先生の配置とか、免許のこととか、もっときちんと文部科学省のほうでも義務教育学校がどんどん増えていっていますので、そういうことも大阪府教育委員会を通じて、きちっと明示をしてくださいということは教育長の集まりの中でもお話をさせてもらっていますし、府の教育委員会にもお願いをしているところです。

先生方に過度の負担をかけることなく、開校まで5年余りがありますが、その中でできるところから色々な準備を進めていかななくてはならない。そして今回、先生方からSkypeですので、一方的な説明でしたの、『「疑問点」につきましては、直接学校に行つて時間を取ってもらって説明していきますよ。』という調整もしてるところでございます。

## 【委員】

これからのことだと思うのですが、ただ、東については本当に目の前のことなので、そのあたりのところ期間猶予がないと思うので、とにかく先生方のやる気をそがないでほしいとそれだけすごく思っていて、免許の資料にしても、免許なんて個人で取るものですから個人で調べなさいといったらいいようなことですが、できるだけこういう方法がありますよというようなことを資料提供してあげてほしい。先生方も先生の経験を踏まえて、また新しく免許を取るときに勉強されたら色々な意味で勉強にはな

と思う。免許の更新も更新した年度からまた十年間に延びることもできるし、良いこともいっぱいあると思う。そのあたりのところを不安にならないような形で丁寧に説明して、やらされているだけというイメージを最初に持ってしまうと教員って結構頑固な方も多いので、やはりそのあたりのところをトップダウンでやられるのではなくて、一緒に新しい学校を創っていこうという気持ちを盛り上げてほしいと思います。

### 【こども未来部長】

学校に Skype で説明をしたあと、学校でまとめてすごくたくさんの先生の意見が来ております。

その中で、やはり免許の件を心配される方がおられます。教育委員会としましても人事を教育総務課が扱っておりますので、免許の取得について大阪府にも確認して、資料等直接貰いに行っております。資料は持っておるのですけれども、最後はやはり本人の先生に確認をしてもらうのが必要となりますけれども、十分配慮してやっていきたいと思っております。

また、先生方も意見を見ますと、豊能の風とか最近の国全体の教育内容も関心がない先生が多いと。例えば、文科省はまだ六三制を推進しているのにと書いてあるアンケートもありました。そのあたりについてもこの前教頭会等におきまして随時豊能の風とか広報で内容を発信しているの、教員の方には見ていただいて、また、教育委員会もしっかりと、今度は来月ぐらい、情報交換会を小学校の校長先生、教頭先生を入れては毎週情報交換を図っていくことにもなっておりますので、抜け落ちないようにやっていきたいと思っております。

### 【委員】

まず、空調がつくということでよかったなと思っております。

今、教員の方が免許がないと離れていくのではないかという話もありましたけれど、私は、住民目線で少しお話させていただきましますけれど、西公民館でやった保護者説明会に参加させていただきまして、そのときに出た意見なのですけれど、小中一貫していただくこととは少しずれるかもしれませんが、不登校のお子さんがいらっしゃる方のお話でしたけれど、やはり決まったカリキュラムを受け入れるのが苦手というか、そういう方がいて、豊能町にフリースクールみたいなものもあつたら良いなという話もされておりました。

今だと近隣では、池田にフリースクールがあるのかな。でも、そこに池田市に住んでいたら無料だけれど、そうでない人は行けないというお話されておりました。

今回の小中一貫の形になった場合に、フリースクール的なテイストが入ってきたら良いかなと思っていて、具体的に言うと、先ほど貴重な植物とか生物とかがいますので、そういうものを見るというカリキュラム。それはカリキュラムですけれど、自然を見る

とか触るといのは予想がつかないことが起こるので、結構何か自由な時間になるかなとも思っていますし、様々な年代の子、年代とはいえ子どもですよね。それがすごく多様な子どもたちが触れ合えるという環境は結構フリースクールっぽいところもあるかなと思うので、不登校が小中一貫にしたら減るとい話も聞いていますから、そういう良い方向に働けばすごく良いなと思います。

その一方で、それでも行けないとかという子もいるかなと思うので、その受け皿として何かそういう一つの施設というか、何かそれがあると更に良いかなと思うので、今小中一貫の話をしているので、横にフリースクールを作るとかという話はすごく難しいと思いますし、何か少し頭の片隅に入れながらこの改革を進めていってほしいなと感じました。

あと、昔から出ている意見で、部活が減っているので今回は2小2中でやるということで、また、相変わらずその話は出てくるかなと思います。

その辺もその場では検討しますということでどんどん意見くださいというような対応でこちらからしていましたけれど、どんどん意見が出てくるだけで対応を全然していないじゃないですかということで、続いていくと良くないと思います。

あと、保幼小中一貫といっても、今、保育所に入りたいけど入れないと。ふたば園は空きがあると。でも、ふたば園は遠い。そうしたらこの町に来ないでおこうかなとい話も確かそのとき出たので、これは住民が離れていく話ですね。せっかく子どもたちは宝だとか一生懸命やろうといっているのに、キャパがないというのは非常に残念なので、これを機会にといか、そこはやはり近くで受け入れる体制を整えてほしいなと強く思っています。

あと、もう一つ私のメモで意見があったのが、小中一貫の検討が非常に長いので、住民が離れていくのではないか。これは気持ちが離れていくという意味だとは思いますがどね、もう早く動いて良い方向に向けてみんなでやっていくという形でやってほしいと思います。

まだまだ住民の方って、さっきトップダウンの話が出ていましたけれど、絶対トップダウンで来ると思っている。住民の人が意見を言ったってそんなに強くは反映されないし、色々な状況があるというのも住民の方も多分分かっていらっしゃるので、強くも言えないと思うので、トップダウン色が強いとはいえ、住民の意見も入れていますよというのがアピールできるような形で進められたら良いなと思います。

### 【こども未来部長】

確かに保護者説明会のときにフリースクールの件が良く出ていました。本町でやるのはなかなか難しいと考えております。今、近隣にお願いして預かっているという子も居るらしいですけれども、その辺は頭の片隅に置いて何かできることがあれば当然これから色々意見が様々なものが出てくるでしょうからその辺は考えていきたい

と思います。

クラブ活動につきましては、地域の方の交流とか東西バスを出しての交流とかがあると思いますけれども、ちょうど日曜日能勢町さんが中高一貫教育でやっているのですけれども、それに近い豊能テニスクラブ対能勢高校の対抗試合をやっておりました。そういうことも含めて、今後地域の方も中学校のクラブに参画していただいて、何か教えたり、試合したり、豊能テニスクラブは70歳ぐらいが平均なのですからけれども、高校生とやるのを非常に楽しんでやっておられました。また、高校生も非常に豊能テニスクラブは技術がありますので、シングルスもやったりして結構勉強になったクラブ活動の一環であったと思っておりますので、その辺今後も考えていきたいと。

### **【委員】**

私も西地区の保護者説明会に出て少し気がかりだったのは、クラブ活動とかフリースクールについて民間の団体に言ってできないことはないけれども、費用面がやはり負担になるというのが言われていましたので、少しでも良いのだというのではなくて、やはり学校にクラブ活動があったらそこでは費用を気にせずにできるので、そういう形の費用負担が少なくなるようなプランも少し考えていったほうが良いのではないかなと思います。

### **【こども未来部長】**

今ここでそれはできるかどうかは難しい話ですけれども、教育委員会も勉強しまして考えていきたいと思っております。

### **【議長】**

次の報告に移らせていただきます。

### **【教育総務課】**

- ・9月補正予算について
- ・小中学校エアコン設置工事
- ・GIGA スクールの進捗

### **【義務教育課】**

- ・各小中学校の修学旅行等行事について

### **【こども育成課】**

- ・新型コロナウイルス感染症対策の予算について
- ・運動会について

**【生涯学習課】**

- ・施設の新型コロナウイルス感染症対策について

**【議長】**

各課からの報告に対し、ご意見、ご質問等はいかがでしょうか。

**【委員】**

ロビーコンサートについて、少し聞きたいのですけれども、今、30名限定で電話予約とかという体制でされていると思うのですけれども、ロビーコンサートは当日来る方過去から多かったと思うのですけれども、状況はどんな感じですか。30人いっぱいになったりするの、すごく減ってしまったのかどんな感じですか。

**【事務局】**

今のところ毎回30人ぎりぎりに来ていただいているという状況です。

また状況を見ながら、隣との間隔とかを見ながら徐々に増やしていけるというものであれば増やしていきたいと思っておりますけれども、今のところはほぼほぼ予約でいっぱいという状況で、当日2、3人来られないという方は見受けられますけれども、ほぼ30人毎回満員というか定員いっぱいまで来ていただいている状況です。

**【委員】**

吉川中学校の修学旅行、昨日は運動会かな。私の娘が中3なので両方参加させていただきましてありがとうございます。

個人的な話ですけど、私の娘もそういうイベントがあったらめっちゃくちゃ喜んでますし、運動会も延期になりましたからまた雨かなという話もあったのですけれども、すごく生き生きして学校に通っています。

そうではないときも学校が結構大好きで、この間も友達と「土日要らんよな」みたいな話をしていたということを知って、教育かどうか分からないですけど、すごく良い環境にいらさせているのと、最近特にイベントも多かったのも実感させていただいていますので、何か個人的なお礼としては申し訳ないのですけれども、良い環境だなと感じておりますので、お伝えしておこうかなと思いました。

**【委員】**

土日の話が出たのですっと思い出して、私の孫も海洋学習がすごく楽しみで、雨が降ったのですけれども、一日目は何とか小雨でしたが、主だった行事は全部できたようで喜んで帰ってきました。

一つ聞きたかったのは土曜日授業なのですけれども、これは3学期もずっととなるのでしょうか、それとも2学期だけなのでしょうか。

光風台小学校は、去年と比べて残っているのはこれだけですよというのを書き出してくださいだったので、ほぼほぼ追いついたのかなという感じがしていて、土曜日授業をいつまでするのかというのが少し気になっています。

### 【事務局】

例年この時期に教科課程の調査をさせていただいております。今回は特にコロナで前半授業ができていけませんので、どの程度授業実数を確保できたかということで見せてもらいました。

教科によってばらつきはあります。総合学習といったところは課外授業も含まれますので、なかなかできていないのですけれども、主要教科につきましては、大体7割以上授業実数確保できたという報告を受けておりますので、文科省のほうからも今年度については8割ぐらいできたらよしとしましょうという通知をいただいておりますので、私個人的には2学期だけ学校の先生方にはご負担かけているのですが、土曜授業をして、次またインフルエンザとかコロナの第2波があるかもしれないと報道関係で言っていますので、その対応策の一つとして授業実数の確保をしていただきたいなと思っております。

3学期につきましては、土曜授業をなくしていったらなと思っております。その代わり、中学校については6時間授業では対応できないので、7時間授業も少し視野に入れているよと聞いております。

そうすると、また、生徒さん、また、先生方にもご負担はかかります。ただし、進学等のことも考えるとやむを得ないのかなと思っております。

2学期につきましては、両中学校については7時間授業を入れている週もあります。生徒さんたちも先生方も結構お疲れが出ていると聞いておりますので、その辺どのような形で解消できるのかも見ながら3学期の期間の日数、土曜授業についてはもう一度考えていかないといけないかなと思っております。

### 【議長】

国のほうは一応1年間で教える内容の8割を目途として、2割は家庭でというようなこともございますけれども、なかなか家庭でその2割をやっていただくのは色々学校からフォローをしないとできないものだと思っております。

今、事務局からありましたように、今回、6月からのスタートということでそれぞれの学校が色々な工夫をしながら教育課程の一年間を見渡してやってくれております。

その中で、一つの目安としては12月までどれぐらいの量が子どもたちに教えることができたか。その辺は学校とヒアリング等を通じまして、きちっと把握をしながら進め

たいと思っていますし、子どもに過度な負担をかけることはあってはならない。ただし、教えることはきちっと教えておかないと次の学年に持ち越してというのはなかなか厳しいものがございます。

やはり3月の授業がありませんでした。その分につきましては、6月以降の中で復習を兼ねながらやっていただいていると聞いております。ですから、そのあたりは学校と調整しながら進めてまいりたいと思っております。

私のほうから少しよろしいですか。これは2月のときに委員さんにお伺いしましたように、色々なことを決めていく際には色々な人の意見を聴きながら、例えば、コロナ禍の今の対応等につきましても一応原案は事務局で色々と周辺の情報とか、あるいは国、大阪府の情報を取りながら考えて、それを教育委員さん方にもお伝えをし、校長さんにも実際に私や部長なり課長が入ってこういう形で進めようと思っておりますがどうか。無理はないですかというようなこともお聞きしながら、この間進めてきたつもりでございます。

色々なことを決めるのにこれはやはり独断というか、トップダウンでこういうことは決めてはダメだと思います。やはり色々な意見を元にして、その中で、子どもたちにとってどうかと。学校で教えていただく先生方にとってどうかと。無理はないかというようなことも十分考えながらやってきておりますけれども、無理があれば、課題があればきちっとそれはお聴きをしながら今後とも進めてまいりたいと思っております。

教育委員会のほうも2月にお願いしましたように、できるだけここで色々なことを論議するだけではなくに、できるだけPTAの会長さんなんかと意見交換するとか、児童・生徒会で子どもたちの意見も聴く。

これから再編にあたってどうしていくかというようなことも計画には入れておりましたが、コロナ禍の対応がありますのでなかなかその辺が難しいところがあって進められていないところがございますけれども、できるだけ開かれた教育委員会を目指して今後とも進めてまいりたいと思っております。この間委員さん方にも色々なご意見いただきながらここまで来ておりますけれども、どうかご理解・ご支援をよろしく願いいたします。

### 【議長】

ご意見、ご質問等はいかがでしょう。

そうしましたら、以上をもちまして令和2年度第5回豊能町教育委員会議9月定例会を閉じさせていただきます。

なおここで、来月22日で退任をされることになりました。

岸本委員におかれましては、平成24年10月23日より2期8年本町教育委員としてお務めをいただきました。その間、様々な教育課題、どのようにしたら会議がより前に進むことができるかというようなご意見、課題となっております小中学校の再編統合問

題につきましてそれまでの校長あるいは教職経験を生かしながら様々な角度からの確なご意見をいただいたところでございます。

子どもたちの少人数化、学校の老朽化が進む中、やはりこの問題につきましては早急に結論を出していくことが必要ということも常におっしゃっていただいたところでございます。

なお、これまでの功績をたたえまして、大阪府知事より文化の日の表彰が内定しておりますことを皆様方にもお伝えをさせていただきたいと思っております。

なお、後任につきましては、岸本委員と同じ光風台地区で校長経験がおあり、本町でも吉川中学校の教頭等を勤務されました富永彰一氏をお迎えすることになっております。これらを併せてお伝えをさせていただきます。それでは、岸本委員さん、どうかよろしくお願いたします。

#### **【岸本委員】**

退任のあいさつ。

#### **【議長】**

本当に岸本委員さん2期8年に渡りまして、本町の教育委員になっていただきましてご尽力いただきました。本当にありがとうございました。今も委員さんのほうからありましたように今後とも色々な形で豊能町の教育、そして学校、子どもたちのことを見守り、また、色々な形でご支援いただけたらありがたいと思っております。本当に長きに渡りましてありがとうございました。

それでは、これで終わらせていただきます。

次回の日程調整ですけれども、10月29日の木曜日はいかがですか。

よろしいですか。

それでは、次回の教育委員会会議は、10月29日午後1時半からとさせていただきます。

これをもちまして令和2年度第5回豊能町教育委員会会議（9月定例会）を閉会いたします。

ありがとうございました。

閉会 午前10時46分